

学校評価報告

令和5年度における「学校評価」の実施内容を以下のとおり報告いたします。

令和5年度自己評価・学校関係者評価報告書

1 本園の教育目標

本園は、主役が園児という保育者の共通理解のもとで、遊びを通して、自主性と責任感があり、心身ともに成長する子どもを育てることを教育目標としています。

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

本年度は専門講師による体育指導を重視しながら、体育指導を通して幼児教育の充実を図り、幼児一人ひとりに寄り添った教育を行います。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目		評価	取り組み状況
1	教育目標に基づき教育課程を編成し、教職員間で共通理解を深めながら園児を指導します。本年度は専門講師による体育指導に力を入れ、園児の情操面における心身の発達に寄与するよう保育内容を充実させます。	4.5	教育課程、指導計画に基づいて指導を行った。全体会では教職員間で共通理解を深めました。専門講師によるスポーツ教室を通して、体を動かす楽しさに気づき、自分から進んで取り組んでいました。
2	教職員・園児の安全対応能力をさらに向上させるため、教職員と園児が一体となりマニュアルを参考にしながら、実践に役立つ地震・津波・火災に対する防災訓練を行います。	4.1	今年度は工事中の制約があり、十分な訓練ができなかったが、震災を想定した引き取り訓練では保護者の協力のもと、無事に引き渡すことができました。
3	教職員の資質向上のための取り組みとして、昨年に引き続き、年間計画に基づく園内・園外研修に参加します。	4.6	園外研修ではレポートを作成し、職員間で共有した。園内研修では、ディスカッションを行い、新人の育成向上に取り組みました。
4	必要に応じて保護者の参加・協力を求め、保護者と面談・連携することによって、幼児本人に対する理解を深め、保育内容の充実に役立っています。	4.6	保護者会で幼児教育のねらいや活動状況を分かりやすく伝え、共通理解を深めた。園行事を通して保護者との協力により、教育内容を充実させました。
5	担当教員が中心となって個別の指導計画を作成し、家庭等との連携を図りながら、特別支援児を園内で支援する体制を整備します。	4.3	江戸川区の発達巡回支援を利用したり、療育に通っている保護者と連携をはかったりすることで個別の教育内容を充実させました。
6	保護者の実情や要望に応じて預かり保育の一層の充実を検討します。	4.4	預かり保育は異年齢の園児が関わるができるように配慮しました。保護者の要望に応じて、当日の預かり保育を受け入れました。

評価（5：十分に達成 4：達成 3：おおむね達成 2：要努力 1：改善を要する）

4 総合的な評価結果

評価	理由
4.4	今年度は建設工事期間の仮設園舎で保育を行い、制約が多い中で教員一人ひとりの工夫によって、年間を通してカリキュラム通りの予定をこなすことができました。専門講師によるスポーツ教室の指導では、回数を重ねるごとに子どもたちの成長がみられました。保護者アンケートでは本園の方針にご理解をいただき、大変良い評価をいただきました。次年度は認定こども園の初年度であり、職員間で情報共有をしながら、職員のスキル向上を目指し、より良い保育活動に取り組んでいきます。

評価（5：十分に達成 4：達成 3：おおむね達成 2：要努力 1：改善を要する）

5 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
2 安全管理	今年度は制約が多く不審者対応等、実施できなかった項目についても計画を立て、実施できるようにします。
5 特別支援教育	特別支援教育における園内研修の充実をこれまで以上に図っていきます。

6 学校関係者評価委員会の評価

降園時に先生方から子どもの様子をきめ細やかに伝えて下さりありがとうございます。日々の子育てで悩んでいるときに、相談に乗っていただきました。来年度は綺麗になった園舎で子どもたちがのびのびと遊べる環境に期待したいです。また、スポーツ教室を見学したときに、専門講師の声掛けがわかりやすくてよかったです。子供たちは集中して話を聞き、楽しそうに体を動かしていました。来年度以降もスポーツ教室を継続してほしいです。